

区 分	教養教育科目－社会科目	担当教員	水落 亮平			
授業科目	心理学 I					授業形態
英 訳	Psychology I					単独
配当年次	1年次 前期	必選別	選択	単位数	2 単位	
【授業の目的】 ヒトの心理や行動の基礎となる原理を学び、心理学が解明しようとする心について理解する。						
【授業の到達目標】 ヒトの心理や行動の基礎となる原理について理解し、心理学がどのような学問かを知る。						
【授業の概要】 ヒトは、自分を取り囲む環境から様々な情報を取り入れ、それを基に思考・行動し、知識・経験を積み上げることで適応する。本講義は知覚・学習・記憶・性格といった側面から行動と環境との関わりについて理解し、「心」の学問を概観する。						
【準備学習(予習・復習)】 授業内容について配布資料や確認テストを用いて復習しておくこと。						
【授業計画】 第01回 オリエンテーション、心理学とは 第02回 心と体のつながり 第03回 感覚と心理 第04回 知覚と心理 第05回 言語・文字と心理 第06回 確認テスト、学習の基本原理 I 第07回 学習の基本原理 II 第08回 記憶と心理 I 第09回 記憶と心理 II 第10回 確認テスト、記憶の変容 第11回 動機づけ・情動と心理学 第12回 パーソナリティと心理 第13回 心に表れるさまざまな症状 第14回 色彩と心理 第15回 確認テスト、まとめ 期末試験						
【テキスト】 講義ごとに配布資料を用意する。						
【参考書・参考資料等】 適宜指示する。						
【成績評価の方法等】 期末試験（100％）によって評価する。						
【履修要件等】						

区 分	教養教育科目－社会科目	担当教員	水落 亮平			
授業科目	心理学Ⅱ					授業形態
英 訳	Psychology Ⅱ					単独
配当年次	1年次 後期	必選別	選択	単位数	2単位	
【授業の目的】 ヒトの心理の発達や対人行動の基礎となる原理を学び、自分と他者を理解する導入とする。						
【授業の到達目標】 ヒトの心理の発達や対人行動の基礎となる原理について理解する。						
【授業の概要】 ヒトは、自分を取り囲む環境から様々な情報を取り入れ、それを基に思考・行動し、知識・経験を積み上げることで適応する。本講義は知覚・学習・記憶・性格といった側面から行動と環境との関わりについて理解し、「心」の学問を概観する。						
【準備学習(予習・復習)】 授業内容について配布資料や確認テストを用いて復習しておくこと。						
【授業計画】 第01回 オリエンテーション、心理学とは 第02回 発達と心理Ⅰ：乳幼児期の発達 第03回 発達と心理Ⅱ：児童期の発達 第04回 発達と心理Ⅲ：青年期の発達 第05回 発達と心理Ⅳ：非定型発達 第06回 確認テスト、非定型発達を理解する 第07回 非定型発達を理解する 第08回 社会と心理Ⅰ：対人的影響 第09回 社会と心理Ⅱ：集団 第10回 社会と心理Ⅲ：対人認知 第11回 社会と心理Ⅳ：原因帰属 第12回 確認テスト、服従の実例 第13回 服従の実例 第14回 犯罪と心理 第15回 確認テスト 期末試験						
【テキスト】 講義ごとに配布資料を用意する。						
【参考書・参考資料等】 適宜指示する。						
【成績評価の方法等】 期末試験（100％）によって評価する。						
【履修要件等】						

区 分	教養教育科目－社会科目	担当教員	西手 満昭			
授業科目	経済学 I					授業形態
英 訳	Economics I					単独
配当年次	2年次	前期	必選別	選択	単位数	2単位
【授業の目的】 本講義では、ミクロの視点に基づいた経済理論を通じて、実際の経済問題（消費者行動や企業の目的、市場機構など）を考察し把握するとともに、ミクロ経済学の基礎を修得する。						
【授業の到達目標】 ミクロ経済学の考え方を身につけ、経済に関連したニュースやトピックスを含めた様々な経済現象を理解できるようにすることを目標に据える。						
【授業の概要】 ミクロ経済学の基礎的概念（経済学を学ぶ上で必要な用語・考え方など）や、家計・企業の行動、需給均衡、市場のしくみなどの基礎的理論についての解説を中心に講義を進める（図や簡単な数式を用いた経済現象の解説を含む）。						
【準備学習(予習・復習)】 <ul style="list-style-type: none"> ・次回の講義予定に該当する資料に目を通し、不明点をチェックしておくこと ・授業の要点をまとめ、与えられた課題をまとめること ・前回の授業内容を復習し理解しておくこと、不明点は質問すること ・Webページで公開する資料やノート等を整理し内容を理解すること 						
【授業計画】 第01回 講義概要について 第02回 経済学, ミクロ経済学とは 第03回 家計の行動① ～最適消費計画～ 第04回 家計の行動② ～価格効果～ 第05回 企業の行動① ～利潤最大化計画～ 第06回 企業の行動② ～供給曲線の導出～ 第07回 完全競争市場① ～需給ギャップの調整過程～ 第08回 完全競争市場② ～余剰分析・パレート効率性～ 第09回 不完全競争① ～独占～ 第10回 不完全競争② ～複占・寡占～ 第11回 不完全競争③ ～ゲーム理論・参入阻止過程～ 第12回 市場の失敗① ～公共財・外部経済～ 第13回 市場の失敗② ～情報の非対称性・所得分配など～ 第14回 国際貿易 ～自由貿易と保護貿易・国際分業と比較優位～ 第15回 講義のまとめ 期末試験						
【テキスト】 使用しません。ただし、講義の際に使用するパワーポイントのスライドを以下のWebページにて公開しますので、各自でダウンロード・プリントアウトして活用してください。(http://hopespringseternal.web.fc2.com/)						
【参考書・参考資料等】 N. グレゴリー マンキュー 『マンキュー入門経済学 (第2版)』 足立英之訳、2014年、東洋経済新報社。その他は、講義の際に適宜紹介します。						
【成績評価の方法等】 期末試験 (70%)、小テスト (10%)、授業への取り組み (20%) で評価する。						
【履修要件等】						

区 分	教養教育科目－社会科目	担当教員	西手 満昭			
授業科目	経済学Ⅱ					授業形態
英 訳	Economics II					単独
配当年次	2年次	後期	必選別	選択	単位数	2単位
【授業の目的】 本講義では、マクロの視点に基づいた経済理論を通じて、実際の経済問題（景気動向、失業問題、アベノミクスなど）を考察し把握するとともに、マクロ経済学の基礎を修得する。						
【授業の到達目標】 マクロ経済学の考え方を身につけ、経済に関連したニュースやトピックスを含めた様々な経済現象を理解できるようにすることを目標に据える。						
【授業の概要】 マクロ経済学の基礎的概念（経済学を学ぶ上で必要な用語・考え方など）や、GDP、国民所得の決定、投資、財政・金融政策、IS-LM分析、雇用の決定、国際マクロ経済学などの基礎的理論についての解説を中心に講義を進めていく（図や簡単な数式を用いた経済現象の解説を含む）。						
【準備学習(予習・復習)】 <ul style="list-style-type: none"> ・次回の講義予定に該当する資料に目を通し、不明点をチェックしておくこと ・授業の要点をまとめ、与えられた課題をまとめること ・前回の授業内容を復習し理解しておくこと、不明点は質問すること ・Webページで公開する資料やノート等を整理し内容を理解すること 						
【授業計画】 第01回 講義概要について 第02回 マクロ経済学の基礎的概念の把握① 第03回 マクロ経済学の基礎的概念の把握② 第04回 国民所得の決定① ～45度線分析・乗数プロセス～ 第05回 国民所得の決定② ～インフレギャップとデフレギャップ・総需要管理政策～ 第06回 投資需要の決定 ～利率と債券価格・投資関数～ 第07回 貨幣の需要と供給① ～中央銀行の役割・信用創造～ 第08回 貨幣の需要と供給② ～金融政策～ 第09回 IS-LM分析① ～IS曲線とLM曲線～ 第10回 IS-LM分析② ～政策効果のIS-LM分析～ 第11回 IS-LM分析③ ～マネタリズム～ 第12回 雇用の決定① ～労働市場～ 第13回 雇用の決定② ～AD-AS分析・フィリップス曲線～ 第14回 国際マクロ経済学① ～国際収支統計・為替レート～ 第15回 国際マクロ経済学② ～開放経済下における政策効果～ / 講義のまとめ 期末試験						
【テキスト】 使用しません。ただし、講義の際に使用するパワーポイントのスライドを以下のWebページにて公開しますので、各自でダウンロード・プリントアウトして活用してください。（ http://hopespringseternal.web.fc2.com/ ）						
【参考書・参考資料等】 N. グレゴリー マンキュー 『マンキュー入門経済学（第2版）』 足立英之訳、2014年、東洋経済新報社。その他は、講義の際に適宜紹介します。						
【成績評価の方法等】 期末試験（70%）、小テスト（10%）、授業への取り組み（20%）で評価する。						
【履修要件等】						

区 分	教養教育科目－社会科目	担当教員	井上 幸希			
授業科目	日本国憲法					授業形態
英 訳	The Japanese Constitution					単独
配当年次	2 年次	前期	必選別	選択	単位数	2 単位
【授業の目的】 「憲法とは何か」「日本国憲法はどのような基本原理の下にあるのか」を学び、それが具体的に実社会や我々の生活にどう関連しているかを、裁判例や学説等を基に考えることによって憲法への理解を深める。						
【授業の到達目標】 日本国憲法が保障する基本的人権についての理解を深め、社会の一員としての人権感覚を身につけること。						
【授業の概要】 国民主権、平和主義と共に、立法・行政・司法等の仕組み(統治機構)と基本的人権の保障について、日本国憲法の全体像が理解できるよう、下記の計画に沿って授業を進める。						
【準備学習(予習・復習)】 毎回事前に教科書および配付資料を読んでおくこと。復習としては、配付資料および講義ノートを見直し、分からないところは質問にきて下さい。						
【授業計画】 第01回 法とは何か、憲法とは何か 第02回 憲法の歴史的発展過程（立憲主義について） 第03回 明治憲法と日本国憲法（明治憲法の特徴、日本国憲法の成立過程、日本国憲法の基本原理） 第04回 権力分立制の具体的内容（国会、内閣、裁判所の役割について） 第05回 司法審査制について 第06回 基本的人権の制約（基本的人権とは何か、基本的人権の限界、基本的人権の私人間適用） 第07回 法の下での平等（平等の意味） 第08回 平等原則をめぐる重要判例（尊属殺重罰規定違憲判決、非嫡出子相続分規定違憲判決等） 第09回 思想・良心の自由 第10回 信教の自由（政教分離原則、信教の自由をめぐる重要判例） 第11回 表現の自由（表現の自由の価値、検閲禁止の原則、表現の自由をめぐる重要判例） 第12回 幸福追求権（プライバシーの権利、自己決定権） 第13回 プライバシーの権利及び自己決定権をめぐる重要判例 第14回 生存権 第15回 平和主義（9条の解釈、戦争の放棄、戦力の不保持等） 期末試験						
【テキスト】 ・補足説明用に適宜プリントを配付する。						
【参考書・参考資料等】 ・横藤田誠・中坂恵美子『人権入門』（法律文化社、2017年）						
【成績評価の方法等】 期末試験80%、学修への姿勢20%で評価します。なお、学修への意欲が良好な場合は積極的に評価しますが、学修への姿勢が不良な場合は、減点対象となります。						
【履修要件等】						

区 分	教養教育科目－社会科目	担当教員	相澤 吉晴			
授業科目	法律学					授業形態
英 訳	Law					単独
配当年次	2年次	後期	必選別	選択	単位数	2単位
【授業の目的】 経済社会における法の意義や役割など法制度を正しく理解させるとともに、経済活動を遂行する上で必要な法学に関する基礎的な知識・法的思考・判断を養う。						
【授業の到達目標】 社会生活を営む上で必要な法規に関する基礎的・基本的知識を習得・理解し説明できるようになる。						
【授業の概要】 授業は、できる限り、受講者とのやりとりを多くして、双方向的に進める。そのため、次回の授業概要をあらかじめ示す。						
【準備学習(予習・復習)】 ・授業前、指定テキスト(下記)を読み、専門用語の意味を理解し、不明点をチェックしておくこと。 ・授業後、指定テキスト(下記)を読み、ノートを整理しておくこと。						
【授業計画】 第01回 社会生活と法／法の分類 第02回 成文法と不文法／法の適用と解釈 第03回 権利と義務／権利・義務の主体と権利能力 第04回 行為能力と制限行為能力者制度／無効と取り消し 第05回 法人 第06回 物権と債権 第07回 物権の保護／債権の保護 第08回 契約の意義と種類／意思表示の効果 第09回 契約の効力／契約自由の原則とその制限 第10回 代理 第11回 売買契約 第12回 消費貸借契約の意義と当事者の権利・義務／賃貸借契約の意義と当事者の権利・義務 第13回 債務不履行 第14回 物的担保と人的担保 第15回 契約によらない権利義務の発生・移転・消滅 期末試験						
【テキスト】 長瀬二三男『経済活動と法』(東京法令出版)2015年						
【参考書・参考資料等】 必要に応じて随時紹介する。						
【成績評価の方法等】 期末試験80%、学修に対する姿勢(授業態度、質問等)20%で評価する。						
【履修要件等】						